



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月26日

上場取引所 東

上場会社名 山洋電気株式会社

コード番号 6516 URL <http://www.sanyodenki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山本 茂生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部門担当 経理部部长 (氏名) 田母神 観一郎

TEL 03-3917-5151

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	14,440	△6.0	896	10.5	1,197	58.6	793	189.5
25年3月期第1四半期	15,369	△16.6	811	△49.0	754	△55.6	273	△87.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,746百万円 (176.1%) 25年3月期第1四半期 632百万円 (△72.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	12.77	—
25年3月期第1四半期	4.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	70,790	42,682	60.3	686.93
25年3月期	68,979	41,495	60.2	667.82

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 42,677百万円 25年3月期 41,491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	9.00	15.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	6.00	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 25年3月期の期末配当金の内訳: 普通配当 7円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,000	6.1	2,100	6.5	2,000	6.6	1,400	30.6	22.53
通期	71,000	10.9	5,700	44.3	5,500	22.1	3,800	28.5	61.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	64,860,935 株	25年3月期	64,860,935 株
26年3月期1Q	2,732,825 株	25年3月期	2,731,326 株
26年3月期1Q	62,128,435 株	25年3月期1Q	62,132,771 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における日本経済は、東日本大震災からの復興需要や、政府の緊急経済対策の効果などにより緩やかな回復傾向にありました。一方、中国経済には成長の鈍化が見られました。

そのような中で、当社グループの主要な販売市場である工作機械、ロボット、半導体製造装置などの設備産業業界においては、需要が回復基調で推移しました。

その結果、当第1四半期における連結売上高は14,440百万円（前年同期比6.0%減）となり、連結営業利益は896百万円（前年同期比10.5%増）、連結経常利益は1,197百万円（前年同期比58.6%増）、連結当期純利益は793百万円（前年同期比189.5%増）となりました。

受注高は16,998百万円（前年同期比0.6%減）、受注残高12,943百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

①日本

日本には、当社および連結子会社の山洋工業株式会社、山洋電気テクノサービス株式会社があります。セグメント売上高は15,729百万円（前年同期比2.3%減）となり、セグメント利益は532百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

②北米

北米には、連結子会社のSANYO DENKI AMERICA, INC. があります。セグメント売上高は1,225百万円（前年同期比3.6%増）となり、セグメント利益は91百万円（前年同期比774.1%増）となりました。

③ヨーロッパ

ヨーロッパには、連結子会社のSANYO DENKI EUROPE S. A. およびSANYO DENKI GERMANY GmbHがあります。セグメント売上高は885百万円（前年同期比26.1%増）となり、セグメント利益は52百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

④東アジア

東アジアには、連結子会社の山洋電気（上海）貿易有限公司、山洋電気（香港）有限公司、台湾山洋電気股份有限公司、SANYO DENKI KOREA CO., LTD. ならびに山洋電気テクノサービス株式会社の子会社である山洋電気精密機器維修（深圳）有限公司、および山洋電気（香港）有限公司の子会社である山洋電気貿易（深圳）有限公司、中山市山洋電気有限公司があります。セグメント売上高は1,496百万円（前年同期比16.4%減）となり、セグメント利益は6百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

⑤東南アジア

東南アジアには、連結子会社のSANYO DENKI PHILIPPINES, INC., SANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD. および山洋電気テクノサービス株式会社の子会社であるSANYO DENKI TECHNO SERVICE (SINGAPORE) PTE. LTD. およびSANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD. の子会社であるSANYO DENKI (THAILAND) CO., LTD. があります。セグメント売上高は3,031百万円（前年同期比24.3%増）となり、セグメント利益は185百万円（前年同期比35.0%増）となりました。

また、事業部門別の営業概況は次のとおりです。

①クーリングシステム事業

クーリングシステム製品「San Ace」は、工作機械、半導体製造装置などファクトリーオートメーション業界向けの需要は伸び悩んでおりますが、日本国内を中心に太陽光発電用パワーコンディショナ、電気自動車用急速充放電器など、環境関連の新市場からの需要が増加しています。従来からの大口市場であった通信業界向けの需要は、携帯基地局の設備投資の増加により、国内外ともに堅調に推移しています。

その結果、売上高は3,791百万円(前年同期比1.0%増)、受注高4,230百万円(前年同期比10.5%増)、受注残高2,353百万円(前年同期比26.7%増)となりました。

②パワーシステム事業

パワーシステム製品「SANUPS」は、エンジン発電機、静止型電源装置ならびに太陽光発電用パワーコンディショナとも、堅調に推移しました。

その結果、売上高は2,315百万円(前年同期比34.7%増)、受注高3,430百万円(前年同期比23.0%増)、受注残高3,190百万円(前年同期比6.0%増)となりました。

③サーボシステム事業

サーボシステム製品「SANMOTION」は、中国市場での停滞がまだに続いています。一方、IT関連の設備投資の回復により、チップマウンタの需要が好調に推移しました。また、自動車業界は堅調であり、工作機械、産業用ロボット、射出成形機向けの需要が回復基調にあります。

その結果、売上高は6,801百万円(前年同期比20.2%減)、受注高7,223百万円(前年同期比17.1%減)、受注残高4,039百万円(前年同期比17.6%減)となりました。

④電気機器販売事業

産業用電気機器、制御機器および電機材料の販売は、医療機器、半導体関連などの一般産業機器について需要の回復が遅れ低調でしたが、一方で、太陽光発電用パワーコンディショナおよびその制御盤など、新エネルギー関連の需要が引き続き活発でした。

また、鉄鋼関連事業においては老朽設備更新などの引き合いが計画どおりに推移しました。

その結果、売上高は1,088百万円(前年同期比5.3%減)、受注高1,712百万円(前年同期比29.1%増)、受注残高2,854百万円(前年同期比38.2%増)となりました。

⑤電気工事事業

主な事業分野の製鉄プラント設備関係は、新規建設工事の引き合いが縮小しましたが、補修工事は計画どおりに推移しました。

また、太陽光発電設備の機器、工事設計を含む一括施工の需要は依然活発で、多くの工事が完成しました。

その結果、売上高は444百万円(前年同期比93.5%増)、受注高402百万円(前年同期比9.8%減)、受注残高505百万円(前年同期比5.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産で1,811百万円の増加、負債で624百万円の増加、純資産では1,186百万円の増加となりました。

総資産の主な変動要因は、現金及び預金の増加1,562百万円、投資有価証券の増加446百万円、受取手形及び売掛金の減少1,975百万円によるものです。

負債の主な変動要因は、支払手形及び買掛金の増加721百万円、短期借入金の増加691百万円、長期借入金の減少269百万円によるものです。

純資産の主な変動要因は、利益剰余金の増加234百万円、為替換算調整勘定の増加665百万円によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、11,272百万円となり、前連結会計年度末より1,538百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の営業活動による資金の増加は、1,849百万円(前年同期間は598百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,170百万円、売上債権の減少額2,261百万円、減価償却費478百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の投資活動による資金の減少は、437百万円(前年同期間は31百万円の減少)となりました。これは主に、生産設備等の有形固定資産の取得による支出453百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期の財務活動による資金の減少は、298百万円(前年同期間は1,006百万円の減少)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出304百万円、配当金の支払額559百万円、短期借入金の増加額643百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年4月25日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,163	11,725
受取手形及び売掛金	19,540	17,564
有価証券	48	2
商品及び製品	3,909	4,189
仕掛品	3,201	3,492
原材料及び貯蔵品	5,639	5,968
未成工事支出金	121	193
未収入金	503	484
繰延税金資産	751	544
その他	360	1,264
貸倒引当金	△30	△33
流動資産合計	44,209	45,396
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,743	8,794
機械装置及び運搬具（純額）	1,949	1,939
土地	6,373	6,432
建設仮勘定	527	542
その他（純額）	516	565
有形固定資産合計	18,110	18,275
無形固定資産		
	578	562
投資その他の資産		
投資有価証券	3,729	4,175
繰延税金資産	6	6
その他	2,372	2,402
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	6,079	6,556
固定資産合計	24,769	25,394
資産合計	68,979	70,790

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,214	10,935
短期借入金	7,811	8,502
未払法人税等	647	127
繰延税金負債	3	4
役員賞与引当金	66	18
その他	3,642	3,476
流動負債合計	22,386	23,064
固定負債		
長期借入金	2,171	1,901
リース債務	339	314
繰延税金負債	210	433
再評価に係る繰延税金負債	977	977
退職給付引当金	1,050	1,103
その他	348	313
固定負債合計	5,097	5,043
負債合計	27,483	28,108
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,926	9,926
資本剰余金	11,460	11,460
利益剰余金	20,871	21,105
自己株式	△899	△900
株主資本合計	41,359	41,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188	477
土地再評価差額金	799	799
為替換算調整勘定	△856	△191
その他の包括利益累計額合計	131	1,085
少数株主持分	4	4
純資産合計	41,495	42,682
負債純資産合計	68,979	70,790

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	15,369	14,440
売上原価	12,221	11,109
売上総利益	3,147	3,331
販売費及び一般管理費	2,336	2,434
営業利益	811	896
営業外収益		
受取利息	11	9
受取配当金	51	53
為替差益	—	233
助成金収入	3	13
その他	20	22
営業外収益合計	86	332
営業外費用		
支払利息	28	21
為替差損	109	—
その他	4	10
営業外費用合計	143	32
経常利益	754	1,197
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	7
投資有価証券評価損	256	—
役員退職慰労金	12	20
特別損失合計	268	27
税金等調整前四半期純利益	487	1,170
法人税、住民税及び事業税	92	97
法人税等調整額	117	279
法人税等合計	209	377
少数株主損益調整前四半期純利益	277	793
少数株主利益	3	0
四半期純利益	273	793

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	277	793
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54	288
為替換算調整勘定	410	665
その他の包括利益合計	355	953
四半期包括利益	632	1,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	596	1,746
少数株主に係る四半期包括利益	35	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	487	1,170
減価償却費	509	478
売上債権の増減額 (△は増加)	1,013	2,261
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△99	△816
仕入債務の増減額 (△は減少)	448	345
その他	△991	△998
小計	1,367	2,441
法人税等の支払額	△800	△630
その他	30	38
営業活動によるキャッシュ・フロー	598	1,849
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△152	△453
その他	121	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31	△437
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△123	643
長期借入金の返済による支出	△295	△304
配当金の支払額	△497	△559
自己株式の取得による支出	△0	△1
その他	△89	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,006	△298
現金及び現金同等物に係る換算差額	250	425
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△189	1,538
現金及び現金同等物の期首残高	9,378	9,733
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,189	11,272

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	12,243	1,165	694	1,126	140	15,369
セグメント間の内部売上高または振替高	3,859	18	7	663	2,297	6,846
計	16,102	1,183	701	1,789	2,438	22,216
セグメント利益	560	10	50	7	137	765

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	765
セグメント間取引消去	45
四半期連結損益計算書の営業利益	811

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	11,057	1,209	877	1,062	234	14,440
セグメント間の内部売上高または振替高	4,671	16	7	434	2,796	7,926
計	15,729	1,225	885	1,496	3,031	22,367
セグメント利益	532	91	52	6	185	868

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	868
セグメント間取引消去	27
四半期連結損益計算書の営業利益	896